

◆ 目次 ◆

- 1 「伊澤修在モンリオール日本国総領事挨拶」
- 2 「総領事館からのお知らせ」
- 3 「領事便り」
- 4 「広報・文化便り」
- 5 「日本関連行事等のお知らせ」
- 6 「ケベック州・大西洋4州政治経済情勢」

1 伊澤修在モンリオール日本国総領事挨拶

皆様、遅ればせながら、新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。

皆様ご承知の通り、今年、日本では新しい天皇皇后両陛下が即位されます。それに伴う即位の礼の機会に世界中の賓客が訪日することに加え、外交ではG20やアフリカ会議等、大規模な国際会議が日本で開催されます。そして来年のオリンピックに向けて準備が本格化します。この一年、日本は、カナダ人のみならず世界の人々の関心を引き続けることになるでしょう。

当館では、今年初めてのメールマガジンということで、下記のとおり、本年当地で行われる様々な行事を、日本関連のものを中心にとりまとめてみました（モンリオール歳時記）。

日本語補習校や日本語センターでの卒業式や入学式の後、長い冬が終わり、モンリオールは素晴らしい季節を迎えます。以後、既に恒例となっている行事も含めて様々な行事が行われる予定ですが、こうした日本に対する関心の高まりが、それぞれの行事において好ましい影響をもたらしてくれることを期待しています。

総領事館としましては、館員一同、引き続き、日本とケベックとの関係の強化、そして当地での皆様の生活の支援に全力を尽くして参る所存です。引き続きご指導、ご協力をお願いします。

2 総領事館からのお知らせ

- 2019年2月の休館日のお知らせ
2月11日（月） 建国記念の日

○ モンリオール歳時記

※以下は、いずれも当地で開催が見込まれる行事の一部です。これらの行事に関する情報については、当館ホームページの文化関連行事欄等において随時更新される予定です。

※また、モンリオール市以外の場所で開催予定とされている行事の中には、当館が関与する行事も一部掲載されています。

- 1月 ケベックー日本友好協会新年会（ケベック市）
- 2月 「ジャパン・デイ（文化イベント）」（サンヴァランタン市）
日本事情紹介事業（モンリオール日本語センター）
モンリオール光の祭典（モンリオール市）
- 3月 第21回大西洋州日本語弁論大会（NB州マウント・アリソン大学）
第30回ケベック州日本語弁論大会（マギル大学）
モンリオール日本語センター 修了式
モンリオール日本語補習校 卒業式
「ジャパン・デイ（日本事情講演会）」（ケベック大学モンリオール校（UQAM））
- 4月 モンリオール日本語補習校 入学式
モンリオール日本語センター 入学式
生け花インターナショナル年次展示会（モンリオール市立植物園日本庭園）
- 5月 お花見ピクニック（モンリオール市立植物園日本庭園）
アジア文化祭（モンリオール市）
- 6月 モンリオール国際ジャズフェスティバル（モンリオール市）
F1カナダ・グランプリ（モンリオール市）
- 7月 ファンタジア国際映画祭（モンリオール市）
笑いの祭典（モンリオール市）
- 8月 モンリオール市広島平和記念式典（モンリオール市立植物園日本庭園）
祭ージャポン（モンリオール日系文化会館）
オタクソン（モンリオール市）
- 9月 ジャパネスク（NS州セントメアリーズ大学）
光の庭園（Gardens of Light）（モンリオール市立植物園日本庭園）
モンリオール日本語補習校 運動会
- 10月 モンリオール日本語センター 運動会
ヌーボー映画祭（モンリオール市）
カナダ巡回日本映画上映会（ケベック州・大西洋州（開催地未定））
モンリオール国際旅行博覧会（モンリオール市）
- 11月 モンリオール日本語補習校 秋のブックフェア
「マンガ・北斎・漫画ー現代日本マンガから見た『北斎漫画』展（国際交流基金巡回事業）」（モンリオール市）

3 領事便り

（1）当館管轄州での3月の領事出張サービスについて

当館では、モンリオールから離れた地域にお住まいの皆様のために、領事出張サービスを実施しています。

3月の領事出張サービスについて、以下の日程で実施しますので、お知らせいたします。

近隣にお住まいの皆様におかれましては、是非この機会をご利用くださいますよう宜しくお願いいたします。

○ハリファックス領事出張サービス

日時 : 2019年3月9日(土) 午前10時~午後12時, 午後1時~午後3時

場所 : Halifax Central Library (Windsor Foundation Room (4F))

住所 : 5440 Spring Garden Road, Halifax, NS, B3J 1E9

申込締切 : 2019年2月22日(金)

【詳細】 https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/jp/consular/oneday_halifax_20190309.html

○セント・ジョンズ領事出張サービス

日時 : 2019年3月30日(土) 午前10時~午後12時, 午後1時~午後3時

場所 : Memorial University of Newfoundland

Bruneau Centre for Research & Innovation

Beatrice Watts Boardroom (Room IIC-2014)

住所 : Elizabeth Ave. St John's, NL A1B 1T5

申込締切 : 2019年3月15日(金)

【詳細】 https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/jp/consular/oneday_NL_20190330.html

領事出張サービスに関するご照会は、当館領事班までお問合せください。

電話 : 514-866-3429 (代)

E-mail : consul@mt.mofa.go.jp

(2) モントリオール日本語センターからのお知らせ(2019年度教員募集について)

モントリオール日本語センターでは、以下のクラスで日本語を教えていただける先生を募集いたします。

- ・4歳の幼児クラス(継承語として)
- ・6歳~12歳の子供クラス(継承語として)
- ・13歳以上の成人クラス(第二外国語として:日本語教師としてのキャリア形成に最適)

【勤務条件】

- ・2019年4月より1年間, 毎週土曜日の朝10時~12時で勤務できる方
※7月と8月は夏季休暇
- ・カナダでの就労に適切なビザをお持ちの方
- ・日本語教育経験者優遇
- ・複数年に渡って勤務できる方優遇

【待遇】

委細面談

【応募方法】

info@japanesecenter.com 宛に履歴書をお送りください。

(3) 安全対策：冬の海外安全強化月間

外務省では、海外への渡航者が増える2018年12月18日から2019年1月31日までの期間を「冬の海外安全強化月間」とし、海外安全の啓発強化を行っています。

この強化月間中、「冬の海外安全強化月間」特設ホームページにて「たびレジ」登録推進大使であるケンドーコバヤシさんと吉本興業所属の「おかずクラブ」さんが「たびレジ」登録を呼びかけていますので、是非ご覧ください。

※「冬の海外安全強化月間」特設ホームページ

https://www.anzen.mofa.go.jp/anzen_info/gaimushoxkenkoba.html

4 広報・文化便り

当館では、日本関連行事に関する情報を随時募集しております。皆様ご自身が実施される日本関連行事のほか、知り合いの方についての情報を（culture@mt.mofa.go.jp）までお知らせください。毎月末までに原稿をいただければ翌月のメールマガジンに掲載することができます。ホームページへの掲載は随時行います。

(1) 日加修好90周年記念事業の募集

2019年は、2018年に続いて、日本とカナダが外交関係設立90年目を祝います。これは2018年が日本の公使館をカナダに設立して90年目に当たり、2019年がカナダの公使館を日本に設立して90年目に当たるためです。日加両首脳により「日加協力新時代」と名付けられた日加関係を、両国間の幅広い協力・交流を通じて一層盛り上げていくため、今年も引き続き日加修好90周年を記念するにふさわしい事業を募集し、「日加修好90周年記念事業」として認定します。周年事業として認定された事業は、広報媒体（ポスター、パンフレット、チラシ、プログラム、ウェブサイト、看板、垂れ幕等）に「日加修好90周年事業」の名称と新しいロゴマークを使用いただくことができるほか、管轄地区にある大使館又は総領事館の「日加修好90周年記念行事カレンダー」に掲載されることとなります。奮って御参加ください。

日加修好90周年記念事業の認定基準、申請方法等、詳細はこちらからご確認ください。

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr_ja/90th_event_2019.html

(2) バレンタイン・フェスティバル

岡山県美作市と姉妹都市関係にあるサンヴァランタン市において、2月7日（木）から14日（木）まで、バレンタイン・フェスティバルが開催されます。また、2月11日（月）はジャパン・デイとして、18時から20時まで、日本文化紹介イベントを行います。

場所：Municipalite de Saint-Valentin

790, chemin 4e Ligne

Saint-Valentin, QC J0J 2E0

(3) 第21回大西洋州日本語弁論大会

日時：3月9日（土）

場所：マウント・アリソン大学（NB州）

Mount Allison University

Sackville, NB

(4) 第30回ケベック州日本語弁論大会

日時：3月10日（日）10時

場所：マギル大学

McGill University

Leacock Building, Room 26

855 Sherbrooke St. W., Montreal, QC

*大会出場方法、出場申込み用紙は追って当館ホームページに掲載予定です。

5 日本関連行事等のお知らせ

*以下の日本関連行事は、必ずしも当館が共催、後援、保証している行事ではありません。また、同行事にて表明される意見等は日本国政府の公式見解とは異なる内容を含み得ます。行事詳細については、各主催団体へ直接お問い合わせください。

*外部のサイトへのリンクは、あくまでも皆様への御参考情報です。外部のサイトに掲載されている内容や信頼性に関しましては、当館は一切責任を負いませんので御了承ください。

(1) ラヴァル大学でのイベント（ケベック市）

ア 裏千家淡交会茶道教室

（冬のコース）1月12日～3月23日 毎週土曜日計10回

（春のコース）4月6日～6月8日 毎週土曜日計10回

10時～12時半（初級レベル1と中級） 13時～16時（初級レベル2）

場所：ラヴァル大学日本館

Bibliothèque de l'Université Laval

Pavillon J.-C.-Bonenfant

Espace Japon, niveau 00

詳細はこちらからご確認ください。

<https://www.bibl.ulaval.ca/web/programmation-culturelle/espace-japon-cours-ceremonie>

イ 日仏語ランゲージエクステンジ

日時：（隔週月曜日）2月4日、18日、3月4日、18日、4月1日、15日、29日、5月13日、27日、6月10日

（仏語）19時～19時45分 （日本語）19時45分～20時30分

場所：ラヴァル大学日本館
Bibliotheque de l'Universite Laval
Pavillon J.-C.-Bonenfant
Espace Japon, niveau 00

参加無料

詳細はこちらからご確認ください。

<https://www.bibl.ulaval.ca/web/programmation-culturelle/espace-japon-immersion-francaise-japonaise>

ウ バレンタイン折り紙教室

バレンタインデイにちなんだカードを折り紙を使って作ります。

日時：2月10日（日）13時～15時

場所：ラヴァル大学図書館
Bibliotheque de l'Universite Laval
Pavillon J.-C.-Bonenfant, 4階（4285）

参加無料（20名まで）

エ 四国お遍路

昨年四国お遍路1200キロを歩き、88寺を訪ねた Dr. Alexandre Jouan が、その旅路と日本について語ります。

日時：3月31日（日）13時～15時

場所：ラヴァル大学日本館
Bibliotheque de l'Universite Laval
Pavillon J.-C.-Bonenfant
Espace Japon, niveau 00

参加無料（20名まで）

オ 端午の節句

鎧兜等、端午の節句にちなんだ折り紙作りを行います。

日時：5月5日（日）13時～15時

場所：ラヴァル大学日本館
Bibliotheque de l'Universite Laval
Pavillon J.-C.-Bonenfant
Espace Japon, niveau 00

(2) 2019年ケベックー日本友好協会新年会（ケベック市）

* 同会場で「領事出張サービス（10時～15時）」が開催されます。

* 伊澤修在モントリオール総領事による「外務大臣表彰」伝達式が行われます。

日時：1月26日（土）11時～15時（受付、キオスク開始11時）

場所：ラヴァル大学

Pavillon Maurice-Pollack (Grand Salon, 2階)

2305, rue de l'Université, Quebec

会費：(会場費+昼食お弁当) 当日現金でご用意ください。

大人(13歳以上)：23ドル, 7歳~12歳：12ドル, 6歳以下：無料(昼食はご持参, または12ドルのお弁当をお申し込みください。)

申込締切日：2019年1月18日(先着100名で終了)

*ボランティアで、パフォーマンスやお手伝いをしてくださる方、またキオスク(1テーブル使用料25ドル)を出店希望の方(テーブルと椅子の数記入)を募集しています。

参加申込み及び問合せ先：ゴバン雅美氏 quebecjapon2018@gmail.com

https://www.facebook.com/associationdamitiequebecJapon/?modal=admin_todo_tour

(3) 生け花インターナショナル1月例会

Lynne Williams氏及びAdrienne Doedel氏による小原流ミニデモンストレーションとワークショップが行われます。

日時：1月29日(火) 13時

場所：Mountainside United Church

687 Avenue Roslyn, Westmount (電話：514-486-1165)

参加費：20ドル

連絡先：田中和子氏 montrealikebana77@gmail.com

(4) ケベック国際ピーウィーホッケートーナメント

日本のホッケーチーム「Japan Select」が出場(AA ELITE)します。

トーナメント：2月13日(水)~24日(日)

場所：Videotron Center

250 Wilfrid-Hamel Blvd., Quebec, QC

「Japan Select」出場試合の日時、場所等詳細はこちらから御確認ください。

<http://www.tournoipee-wee.qc.ca/en/index.html>

<https://www.facebook.com/japanselecthockey/>

(5) 鼓童ワン・アース・ツアー2019「Evolution」

太鼓芸能集団「鼓童」(<https://www.kodo.or.jp/>)が2019年1月~3月にアメリカ、カナダツアーを行います。3月23日にはモントリオール公演が行われます。

上演作品：「Evolution」(演出：坂東玉三郎)

日時：3月23日(土) 20時

場所：Salle Wilfrid-Pelletier, Place des Arts

詳細はこちらからご確認ください。

https://www.kodo.or.jp/performance/performance_kodo/10025

<https://placedesarts.com/en/event/kodo>

6 ケベック州・大西洋4州政治経済情勢

(1) 政治

ア ケベック (QC) 州

・ 3日, ルゴー政権は39億加ドルの黒字分を再分配し, 2人以上子供がいる家庭に対して最大500加ドルを給付し, 70歳以上で年間所得2万ドル以下の高齢者に対して200加ドルの税額控除する旨発表。

・ 4日, 州政府は2019年の移民受入数を4万人(昨年より1万3千人(約24%)減)に削減すると発表。

・ 5日, 州政府は州内での大麻の所持・喫煙年齢を21歳とする法律案を提出。

・ 5日, 州政府の移民削減政策を受け, プラント・モンリオール市長は同市としては引き続き移民の受け入れ態勢を整備していきたい旨発言。

・ 6日, ジラール財務大臣は, 今後数年間で州全土の教育費を均等化するとともに, 徐々に下方修正するべく関連法案を提出。

・ 7日, ルゴー州首相はカナダ首相会合でエナジー・イースト・パイプライン計画再編に不支持の姿勢を表明。

・ 10日, クイヤール前州首相の政界引退に伴い行われたRoberval選挙区での補欠選挙では, 与党・ケベック未来連合(CAQ)から出馬したNancy Guillemette氏が54.5%の得票率で当選。

・ 11日, ノットリー (Ms. Rachel Notley) アルバータ州首相はルゴー・ケベック州首相がアルバータ州産石油について「汚れたエネルギー」と表現したことに対し, ケベック州もその恩恵を多く得ている旨批判。

・ 12日, ルベル・カナダ国内関係担当大臣はルゴー州首相のアルバータ州のエネルギー政策に係る発言を受け, ケベック州は引き続きアルバータ州と良好な関係を築いていこうと発言。

・ 13日, モントリオール市警察本部長にカロン氏 (Mr. Sylvain Caron) (元ケベック州警察副本部長) が就任。

・ 16日, 先の州議会選挙でモンリオール市Rivieres-des-Prairies-Pointe-aux-Trembles (RDP-PAT) 地区長が州議会議員に当選し離任したことを受けて実施された補欠選挙は, 与党プロジェ・モンリアル党から出馬したブルジョワ氏 (Ms. Caroline Bourgeois) が当選。

・ 20日, プルー州観光大臣は訪中するケベック州民の中国入国時に指紋データを取得されることについて連邦観光大臣が適切な行動を取ることを希望するも, 連邦政府は他国の査証手続には干渉しない方針。

イ 大西洋州一般

・ 6~7日, 連邦・州首相が一堂に集まるフェデレーション会議がモンリオールで開催。アルコールの州をまたぐ流通制限問題を担当するマクニール・ノバスコシア州首相は, 個人消費を目的とするアルコールの同州内持ち込み制限の撤廃を発表。ヒッグス・ニューブランズウィック

ク州首相は、エナジー・イースト・パイプライン計画の復活を提案したが、パイプラインの通り道となるケベック州のルゴー州首相は、同州内の反発が大きいとして反対の立場を表明。

ウ ニューファンドランド・ラブラドール（NL）州

・ 5日、連邦・NL州政府は州内の65を超える漁業関連プロジェクトに対し、総額1,800万加ドルの支出を発表。

・ 6日、州議会閉会。

エ プリンズエドワードアイランド（PEI）州

・ 5日、州議会閉会。

オ ノバスコシア（NS）州

・ 3日、NS州高等裁判所は、州政府は製紙企業「ノーザンパルプ」への資金援助の方法について、ピクトウ・ランディング・ファースト・ネーション（州北岸）に相談する義務があるとの判決を下した。ノーザンパルプは、同ファースト・ネーション・コミュニティの近くで50年間も排水を放出し続けてきたが、2020年までに放出を停止しなければならないことが決まっており、現在別の放出場所を検討中。

・ 10日、ハリファックス市庁舎の向かいに建設予定の文化施設「ザ・リンク・アーツセンター」（総工費1,300万加ドル）に対し、連邦・州政府が合わせて1,000万加ドルを支出する旨発表。残りは同施設の開発業者「アームコ・キャピタル」が200万加ドル、ハリファックス市が100万加ドルを支出する。

・ 17日、マクニール州首相はCBCとのインタビューで、ファーウェイ幹部逮捕で緊張している加中関係について、ノバスコシア州は貿易、観光、教育の面で中国との関係がますます強まっており、早期解決を望むと発言。

カ ニューブランズウィック（NB）州

・ 5日、NB州政府は、連邦より課される炭素税に反対するため、サスカチュワン、オンタリオ両州の訴訟に加わる上に、ニューブランズウィック州単独で訴訟を起こす予定。

・ 6日、連邦政府は、2019年1月開始予定の大企業向け炭素税制度に関するヒッグス州首相からの実施延期要請を却下。

・ 6日、2021年にモンクトンとディエップで開催予定の仏語圏国際競技大会の費用予測が、開催地決定時の1,700万加ドルから1億3,000万加ドルに膨れ上がっていたことが発覚。前自由党政権は当該費用を州予算に含めていなかった。12日には運営委員会理事11名中5名が辞任。

・ 18日、NB州政府は、救急隊員の英仏バイリンガル能力を雇用条件としないようにアンビュランスNBに命じた。

・ 28日、ブライアン・ギャラン自由党党首（前州首相）が2月半ばに実施予定の自由党党大会をもって党首職を辞任すると発表。それまでは後任が決まるまで続投するとの意向を表明していた。

キ 世論調査（州レベルでの政党別支持率）（コーポレート・リサーチ・アソシエイツ（CRA）調べ）

（ア）NL（11月1日～24日）：自由党46%、進歩保守党35%、NDP17%、その他1%

（イ）PEI（11月2日～19日）：緑の党37%、自由党36%、進歩保守党20%、NDP6%、その他0%

（ウ）NS（11月1日～23日）：自由党38%、進歩保守党31%、NDP24%、緑の党6%

（エ）NB（11月1日～24日）：自由党35%、進歩保守党30%、緑の党17%、ピープルス・アライアンス（PA）12%、NDP6%、その他0%

（2）経済

ア ケベック（QC）州

・4日、モントリオール市に英国のAI技術開発会社3社（QuantumBlack社、WinningMinds社、Bios社）がオフィスを設立予定。これにより130名以上の雇用創出が見込まれる。

・10日、ケベック電力公社（イドロ・ケベック）は2027年までに電気自動車を38万台増、向こう10年で充電スタンドを現在の125ヶ所から1,580箇所とする予定。

・13日、ボンバルディア・シーファン・トランスポーターション社（中国シーファン社との合併会社）は高速鉄道168車両の生産契約（総額4億5,300万米ドル）を中国鉄路総公司（China Railway Corp.）と締結。

・17日、IBMカナダは、更なる雇用創出を目的として、モントリオールに拠点を置くAI技術開発企業IVADO社と2019年からAI及びSalesForceプラットフォーム管理に関する提携を発表。

・18日、ボンバルディア社は三菱MRJ航空機開発での知的財産侵害を巡る裁判で仮差止命令を急ぐ姿勢。

・19日、ソフトバンク社による9,400万加ドルの出資によりネマスカ・リチウム鉱山は10年の準備期間を経てリチウム採掘の開始を迎える。

・20日、ボンバルディア社はビジネスジェット「グローバル7500」を発表。既に受注額は140億加ドルを超え、2019年には15～20機、2020年には35～40機の販売目標を掲げる。

・30日に発効されるCPTPPにより締約国向けカナダ産牛肉に掛かる関税の段階的な引き下げが開始される予定。

イ ニューファンドランド・ラブラドール（NL）州

・6日、ナルコーは、プロジェクト半ばで撤退したイタリアのアスタルディに代わり、NL州企業ペネコンが残りのマスクラット滝水力発電所建設を引き継ぐ旨発表。

・18日、エアカナダは、トロント発及びハリファックス発のセント・ジョンズ行きの深夜便2便の運航中止を発表。

ウ プリンズエドワードアイランド（PEI）州

・ 5日、PEI州東部のロロ・ベイ養殖場建設を計画している遺伝子組み換えサーモン養殖企業「アクアバウンティ」に対し、連邦環境・気候変動省は新たなリスクアセスメントの実施を決定。

・ 7日、連邦政府は、アジア市場向けにカナダ東部における大豆等の油糧種子生産を増やすため、カナダ東部油糧種子開発アライアンス（ECODA、本部PEI州）に研究費用として370万加ドルを支出する旨発表。現在、PEI州内の20ヘクタールで大豆が生産されており、生産量は10年前に比べて3倍に増加。2017年、オンタリオ、ケベック両州を含むカナダ東部からアジア向け大豆の売り上げは23億加ドルで、日本と中国が最大の輸出先であった。

・ 13日、パーマー州経済開発・観光大臣は、2018年8月に地方における高速インターネット整備事業者を公募した結果、応募のあった10社について選定作業に入ったと発表。2019年春の着工を目指す。

エ ノバスコシア（NS）州

・ 4日、NS州政府は、ハリファックスにある沿海州の子供を診療するIWK医療センターの救急病棟拡張に140万加ドルを支出する旨発表。デザインを2019年に公募し、2020年着工予定。

・ 6日、ケープ・ブレトン島東部のシドニーにあるコールセンター「サーヴィコム」が倒産。600人近くが失職。

・ 11日、10月に連邦政府が米ロッキード・マーティンを選定した新しい軍艦のデザイン契約（総額600億加ドル）に関し、米アリオン・サイエンス・アンド・テクノロジー社は、連邦政府の決定を審査するよう求める訴えを11月にカナダ国際貿易裁判所（CITT）と連邦裁判所に提出していたが、CITTは連邦公共事業・調達省による軍艦の調達は緊急であるという意見を受け入れ、審査が終わるまで契約締結をしないよう命じる決定を取り消した。

・ 25日、（上記に関連して）連邦公共事業・調達省とハリファックスのアーヴィング造船所はCITTに対し、アリオンの訴えを棄却するよう求めた。

オ ニューブランズウィック（NB）州

・ 4日、カルガリーのエンブリッジは、子会社の「エンブリッジ・ガス・ニューブランズウィック」をオンタリオ州の「アルゴンキン・パワー・アンド・ユーティリティーズ（APUC）」に3億3,100万加ドルで売却。エンブリッジ・ガス・ニューブランズウィックはニューブランズウィック州内12自治体の12,000世帯に天然ガスを供給している。

・ 19日、NB州最大のシェールガス開発企業「コリドー・リソース」のモラン社長は、ヒッグス政権が水圧破碎のモラトリウムを撤廃したとしても、実際に水圧破碎による採掘を再開するまでには少なくとも3年はかかると発言。

[在モントリオール総領事館メールマガジン]

○このメールマガジンは送信専用アドレスから送信されています。本メールあてに直接返信なさないようお願いいたします。本メールマガジンに関する御意見・御要望は以下のメールアドレスあてに送信してください。 emagazine@mt.mofa.go.jp

○配信中止・配信先変更を希望される方は、「配信中止（又は登録解除）」、「配信先変更」を希望する旨明記の上、 emagazine@mt.mofa.go.jp まで御連絡願います。登録完了後に確認のメールが届きます。

ただし、在モントリオール総領事館ホームページ内の読者登録ページから登録を行った方は、同ページ内の、「利用者情報の変更／削除」から同様の手続きが行えますので、そちらを御利用ください。

○バックナンバーの閲覧は、以下のホームページからお願いいたします。

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr_ja/mailmag.html

○参考ホームページ

首相官邸ホームページ（ www.kantei.go.jp ）

外務省ホームページ（ www.mofa.go.jp/mofaj/ ）

在カナダ大使館ホームページ（ www.ca.emb-japan.go.jp ）

当館ホームページ

（ https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html ）

当館 Facebook（ www.facebook.com/JapanConsMontreal ）

○発行：在モントリオール日本国総領事館

Consulate General of Japan in Montreal

1 Place Ville Marie, Suite 3333,

Montreal, Quebec, H3B 3N2, Canada

○本メールマガジンからの転載を希望する場合は総領事館メールマガジン担当

（ emagazine@mt.mofa.go.jp ）まで御相談ください。
